Vol.65　小さな楽曲を作ってスケールを覚えてみる

『10 分トレ』vol.65、始めていきましょう。

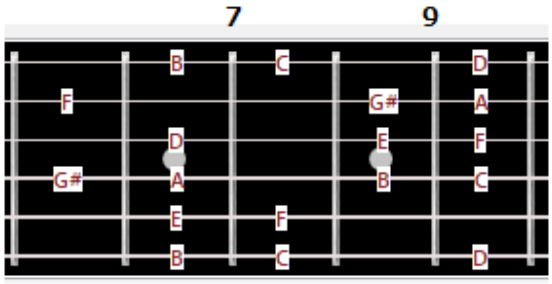
今回は、タイトルにもある様に、新しいスケールを覚えたい時、小さな(短い)楽曲を作って覚えてしまおう、と言うお話です。

実際の所は、「楽曲を作る」よりも「メロディーを作る」と言う感覚の方が近いかもしれませんね。この時、特に制限なく、自分の目的に合わせて好きな様に作ります。

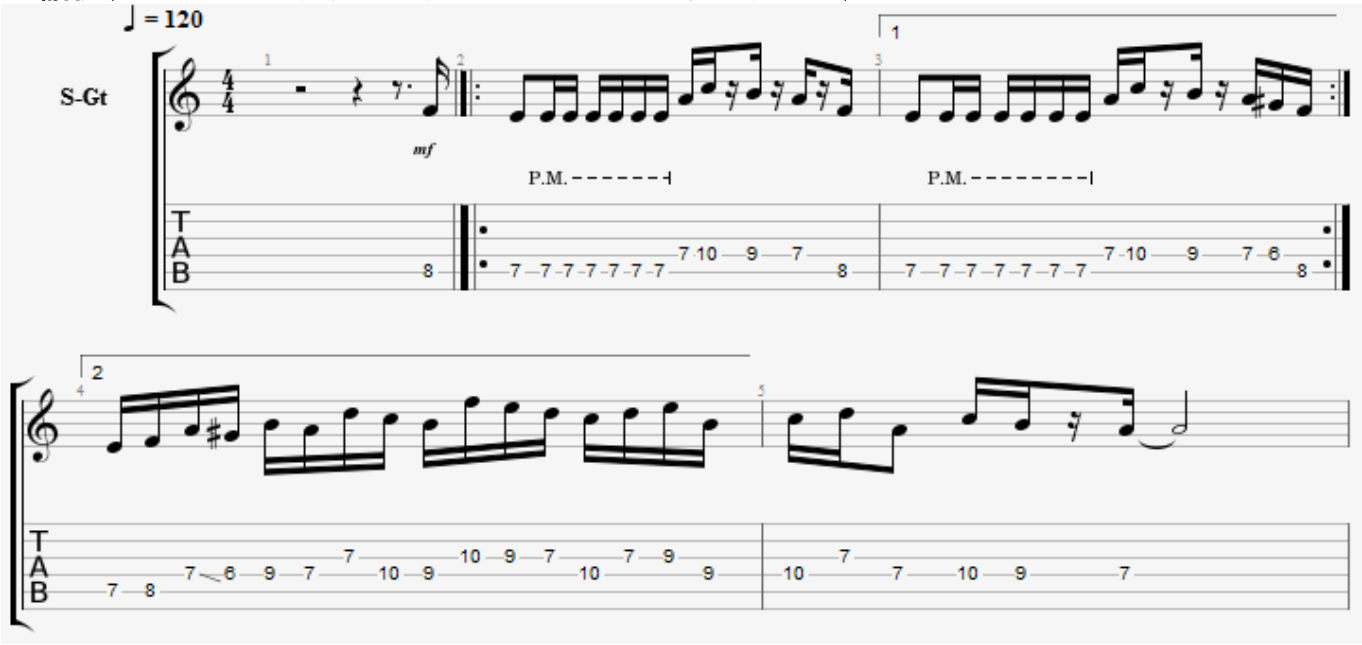
一度に広い範囲を覚えたいのならば、ポジションを広く取れば良いですし、特定の範囲を覚えたいのならばそこに集中するのもアリです。

ここでは例として、前回扱った E ハーモニックマイナー・P5th・ビロウ・スケールを使った譜例を弾いてみましょう。ポジションは 5 弦トニックのモノとその周辺を使います。

図、EHamp5↓スケール、5 弦トニック

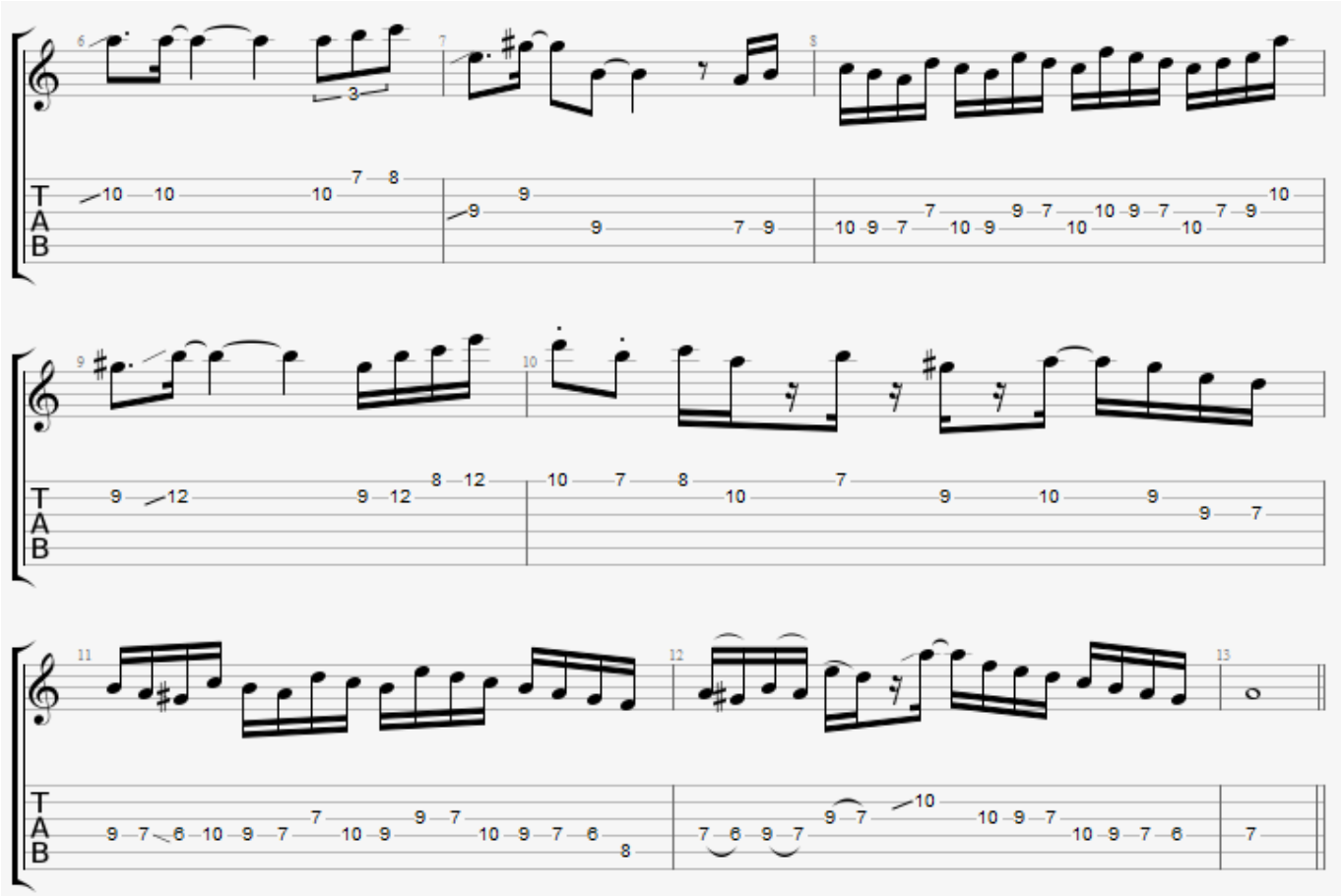


譜例、E ハーモニックマイナー・P5th・ビロウスケール、サンプル



※次ページに続きます

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



想定テンポは BPM120 ですが、それだと少し速いのでもっと遅いテンポにしても構いません。

テクニック面ではあまり難しくしていませんが、教則フレーズ的な単調さを避けるために、音の飛び方や譜割りがポリリズム的になっています。

指使いなども含めて、自分なりに弾きやすいように調整してみてください。
(※基本的には、人差し指から小指までまんべんなく使うように作ってあります)

他の注意点としては、一応 EHmp5↓スケールが主題となっていますが、解決先の音として A 音に向かっているので A ハーモニックマイナー的にもなっています。

この辺り、結局、構成音自体は同じですので、どちらのスケールとしても見る事が出来るようにしておくと良いですね。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved